

## 秋季 探究フィールドワークを行いました！

11月9日（水）（一部10日（木）含む）に、高1、2年が探究フィールドワークを実施しました。

高2のウクライナ支援探究班の廣田風香さん、小松奏太さんは大分県別府市のNPO団体「Beautiful World」を訪問し、代表の小野一馬さんが行う支援活動に同行しました。

日本の運転免許取得のため、通訳支援を受けながら練習するウクライナの方々と交流した後、マリウポリ出身で、激戦地のドネツク州からご家族6人で避難したナジアさんと対話しました。戦場の凄惨な実態に触れ、2人は涙を溜めながら真剣に言葉を交わし、今後の探究への決意を新たにしました。

別府市役所では防災危機管理課主査の河合亜留土さんから、行政支援の実態について学び、前例のないなかでの支援策の取組に感銘を受けました。

「一人でも多くのウクライナ人に朝を迎えてほしい」と語る、ご夫婦で支援を行われている小野ヤーナさん、一馬さんご夫妻の信念に触れ、フィールドワークの後には、成長した生徒の姿がありました。



↑ウクライナ避難民ナジアさんとの対話



↑別府市役所の方から支援策について講義



↑五島市役所の方から海藻の分布等の講義



↑養鶏場での飼料等についてインタビュー

一方、五島市では、高2の藻場造成探究班と遠隔医療探究班がフィールドワークを行いました。

藻場造成探究班の山田あやめさん、増山俊治さんが伺った五島漁業協同組合玉之浦支所では、海藻のアカモクやカギケノリなどの商業利用の方法や持続可能な藻場造成の在り方について、深い学びを得ることができました。

遠隔医療探究班の山下日向子さん、川崎凜さんは五島市役所でドローン物流を用いた処方薬配送やオンライン診療などについてお話を伺い、五島中央病院では実際に患者の方にインタビュー調査をしました。遠隔医療の問題点や実証実験までの過程などを詳しく学ぶとともに、離島で生活する患者の方からオンライン支援などの感想を聞くことができました。

その他にも、対馬市役所や森きらら、諫早東特別支援学校など、生徒の探究テーマに応じて様々な場所で現地調査やオンラインインタビューなどを行い、現場でしか学べない貴重な経験を得ることができました。今後、高1・2年ともに、探究をさらに深め、12月の中間発表会に向けて準備を行っていきます。